令和７年度

事業報告書

社会福祉法人　やまなみ会

くんわ

(外部サービス利用型共同生活援助事業)

目　次

１　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　利用者状況・・・・・・・・・・・・・・・・・１

３　支援内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

４　職員研修内容・・・・・・・・・・・・・・・・５

５　年間行事イベント内容・・・・・・・・・・・６

１．はじめに

社会情勢の動きが目まぐるしい昨今の状況で、物価高騰が続き食材や光熱費、ガソリンの高騰で昨年度以上に日常生活への影響も出ており、経費の見直しやフードロスの削減等は継続して行った。

利用者状況については高齢化が進んでおり、６０歳以上が２０名（全体５０名）と全体の４割が高齢となっている。日中サービスにおいて、就労・生活介護サービス利用から老人デイサービス利用も増えている。日中を住居の外で過ごす事が困難な利用者に対しては食事の提供や体調管理の支援等、日中支援を行った。又、地域生活する中では常に社会的マナー及びルールについて繰り返しの助言を行った。

次に、令和６年４月から義務化された「地域連携推進会議」を行った。会議では、利用者と地域との関係づくり、また地域住民への理解促進、利用者の権利擁護、サービスの透明性と質の確保を目的とし、今後、年１回以上の会議を行う事で地域全体が安心して暮らせる共生社会の現実を目指していく。

２．利用者状況

（１） 定員数　５５名（現員　５０名）（令和８年３月３１日現在）

ＧＨ名称	定員	現員	男性	女性	療育状況	平均年齢
くんわホーム	９	９	９		B1（２）B2（４）	５２歳
治誠寮	５	５	２	３	B１（４）B2（１）	５８．７歳
第二治誠寮	７	６	６		B1（３）B2（１）A２（１）精神（１）	５２．７歳
かがやきハイツ	９	９		９	B1（４）A2（５）	５７．７歳
ひだまり	７	６	５	１	B１（４）A2（１）身体（１）精神（１）	５６．８歳
コーポ赤水	９	８	８		B1（１）B２（３）A２（４）	５３．２歳
くろかわ	９	７	３	４	B1（３）B２（２）A2（１）精神（１）	５１．８歳
合計	５５	５０	３３	１６		

入居者は２１名の方が阿蘇市であり、その他１５市町村からの利用である。

退居者については、ADL 低下にて入院中であった１名が退居となった（特別養護老人ホームあその杜へ入所)。現在、現員が５０名となり定員割れ状態となっている。新規での入居者に当たっては、各市町村福祉課や相談支援事業所と連絡を取りながら、病院・支援学校等へ見学及び体験を呼び掛けており満床となる様努める。また、阿蘇くんわの里利用者の在宅移向を考える上で、次年度は体験して頂き、入居へと結び付けたい。

（２）障害区分状況

障害区分	区分なし	区分　２	区分　３	区分　４
	３８	２名	８名	２名

利用者が高齢化、重度化になっており、障害区分及び介護区分の見直しを市町村や各関係機関へ相談し、高齢の利用者については、介護保険が優先の為、障害区分の調整が難しい利用者も数名いる。高齢やADL低下の利用者については、今後も区分の見直しを行っていくが介護認定を受けた利用者に対してどこまでグループホームでの生活を継続していけるかが課題。

３．支援内容

（１）利用者支援

①利用者居室の清掃等支援

・毎月の居室確認チェック表を作成し、各個人の居室の清掃、寝具・衣類管理等確認を行った。難しい方へは世話人・職員が行い支援に当たった。

・休日に於いては職員２名＋世話人１名を配置し、居室清掃や片付け等の日常生活での支援を強化した。整理整頓が自ら進んで出来るようになっている。

②健康管理・維持及び生活習慣病予防に関する支援

・年１回の住民健診や協力医での健診を実施。必要に応じて胃カメラ・大腸検査やエコー検査も行い、早期の対応に当たった。

・各グループホーム１日２回の検温とバイタルチェックを行い、不良時には必要に応じて病院受診し、各事業所と連携を図り対応した。

・主治医からの指導・助言の有った方に対しては、その方に合わせた食事提供、また適度な運動の推進を行い健康維持に努めた。

・感染症や風邪症状、発熱等があった場合、部屋食で食事提供する等蔓延防止に努めた。

・歯の状態が悪い方が多く、声掛けを行い歯磨きの習慣を意識づけた。また、ブラッシングやメンテナンス受診を定期的に行い、虫歯予防に努めた。

・服薬管理に於いては、服薬カレンダーを使用し毎食後世話人が確認を行った結果、飲み忘れがかなり減った。

③行政及び関係機関との連絡

・高齢やADL低下により障害区分及び介護認定取得等のケースが多くなってきている。サービスの更新時やモニタリング等で利用者の意向を聞き、意向に沿える様市町村や各関係機関と密に連携を取り、検討会や担当者会議を実施しその方に合ったサービスや居住場所を提供できる様支援した。

・GH 空状態を確認しながら行政や相談事業所へ問合わせ利用者確保に努めた。又、GH見学や体験等の依頼が入った際は、利用される方が安心して体験出来る様な環境作りを整えた。

④社会ルールやマナーについての理解

・本年度、２件の窃盗の事案が発生した。警察との情報共有を行い、窃盗を行った利用者の居住場所移動を行い社会的ルールやマナーの大切さを常時説明助言し再発防止に努めている。

・各 GH 管轄の警察・派出所と GH 利用者の情報を共有し、地域共生出来る環境の構築を図った。

⑤余暇活動の支援

・グループホームでの自立した生活が継続できる様、今まで自分で出来ている事は残存し、苦手な事や出来ない箇所についてはフォローし支援した。

・単独行動が出来ない方に於いては、事前に計画し買い物・外出支援を行い、自分で選択出来る事で楽しく余暇が過ごせる様支援した。

・各 GH の花壇の整備や菜園をし、季節の植物鑑賞や野菜を育て収穫する喜びを体験し、心身・情緒の安定を図った。

・イベント等計画を立て、敬老の日やひな祭り外出、花見等を行い利用者も楽しく参加した。

（２）食事に関する支援

・規則正しい食事提供、又、栄養士が作成した栄養バランスを考えた献立、個々に合わせたカロリー食やカット食の提供で健康維持・保持が出来る様支援した。

・利用者の嗜好に合わせ、季節の食材を取り入れたメニューに心がけ、食べる楽しみが持てる様な食事提供を行った。

・行事食や誕生会等では外食の機会を作り楽しく食事が出来る様、又、社会生活の経験・体験をする事で自立した参加ができる様支援した。

・調理器具等の消毒殺菌はこまめに行い、食中毒予防に十分な注意を払ってきた。

（３）金銭面管理

・払い出した金銭に於いては、各 GH ごとで利用者の金銭出納帳に記している。

・依頼額に於いては使用目的を尋ね通帳を確認しながら、嗜好品等が生活費を超えない様に使い方等の指導を行った。

・月の小遣い等の管理が出来る利用者に関しては、小遣い帳を付ける事で支出や計算の理解が出来る様、また必要に応じて助言し支援を行った。

・本人及び家族又後見人への支出等の報告・通帳確認を定期的に行った。
通帳の確認に於いては、本人は毎月、ご家族には年２回以上残高確認を送付している。

（４）日常生活面（清潔保持・衛生・整理整頓）の支援

・入浴されない方には、日中事業所とも連携し清潔保持について説明助言等行い、世話人からも食事前の入浴促しを行う事で清潔保持出来る様努めた。

・口腔ケアと健康の繋がりを理解できる様説明助言し、食後の歯磨きを習慣づける為声掛けを行い支援した。
・髭剃り、散髪等の身なりについて出来ていない場合は声掛けし促しながら支援した。
・季節・気温に合った衣類の着用、また衣替え等が出来ているかを確認し支援した。

（５）家族との連絡調整及び連携
・病院受診や健康状態の説明や報告をご家族にも行い、治療等の方向性の確認を行ってきた。又、帰省に於いての連絡調整を行い、必要に応じ送迎を行った。
・利用者及び家族からの相談・苦情等を聞き早急に対応に当たった。

（６）買い物・外出支援
・単独買い物に行けない又長時間歩けない・交通機関を利用出来ない方に於いては買い物支援を行い、外食やドライブ等の外出支援は希望を聞きながら少人数で小分けし行った。休日は計画的に買い物が出来る様、事前に日程や購入品、行く人数等を決め外出支援を行った。
・買い物代行では、高齢者や希望者への送迎、買い物代行を行った。

（７）相談支援
・利用者の相談支援に於いては、利用者が相談しやすい環境を確保し話を聞く体制を取る様、世話人への周知も行い支援してきた。又アセスメントの聞き取りを定期的・必要時に行い、利用者のニーズに沿って支援が出来る様担当者会議等行い、各関係機関や相談事業所と連携をとってきた。

（８）緊急時対応
・夜間・休日時体調不良や病状急変時、又事故等の対応については、速やかに医療機関へ連絡し対応行った。又家族への連絡説明等も随時行ってきた。
・近隣店舗での窃盗事案が発生した際の対応では、警察からの連絡等はバックアップ施設のくんわの里へ入る為、連絡を受けGH職員・世話人で対応した。

（９）防災対策
・災害時における避難訓練の実施に付いては、シュミレーションを行い、緊急時に迅速に対応できる様、避難経路及び非常連絡網等の確認を行った。
・喫煙は喫煙所のみ可能とし、後始末は世話人・職員の退勤時に火元確認を必ず行い、普段から火災への意識づけを高められる様行ってきた。
・消防設備の点検・整備を定期的に行った。（大野防災へ依頼）
・非常時用の衛生用品及び非常食等備蓄品の点検確認を行った。（くんわの里で管理）

（１０）職員・スタッフのスキルアップ向上
・全スタッフが柔軟な対応、支援が出来る様、毎月行うスタッフ会議では情報共有を行い

全利用者の状況把握に努め支援に当たった。
利用者の知り得た情報等については、守秘義務を守りプライバシーへの十分な配慮を行う様周知徹底した。又定期的に会議の中で虐待防止についての勉強会も行ってきた。

（１１）地域交流と社会参加の促進

・本年度から義務付けられた「地域連携推進会議」を行った。利用者や家族、自治会、行政等、地域関係者の参加のもと、地域との関係構築、施設活動の理解促進、権利擁護、サービスの向上を図っていく為には会議の必要性を強く感じた。
・イベント等がある際は参加の有無を確認し、社会参加の機会提供を図った。

・地域生活をしているうえで、年２回の地域清掃（クリーン作戦）を利用者・スタッフ一緒に行った。

４．職員研修

月	事業内容	事業所外
４	GH スタッフ会議	
５	GH スタッフ会議	
６	GH スタッフ会議	
７	GH スタッフ会議	
８	GH スタッフ会議	
９	GH スタッフ会議	
１０	GH スタッフ会議	
１１	GH スタッフ会議	
１２	GH スタッフ会議	
１	GH スタッフ会議	
２	GH スタッフ会議	
３	GH スタッフ会議	地域連携推進会議 虐待防止研修会（熊本県出前講座） 成年後見制度啓発研修会

５．年間行事

	行事・イベント	地域活動・検診等	防災
４月	花見 バーベキュー	地域清掃（クリーン作戦）	
５月	GW 外出イベント		消防設備点検
６月		花壇整備	
７月		阿蘇市住民健診	
８月			
９月	敬老の日イベント（大分　原尻の滝）		
10月	ロアッソ観戦	阿蘇市住民健診	消防設備点検
11月	秋祭り（芋煮会）・ミニ運動会	文化祭 阿蘇市住民健診 地域清掃（クリーン作戦） インフルエンザ予防接種	
12月	餅つき（くんわの里） 大晦日（年越しそば）		
１月	1/１　正月（お節料理・お雑煮） どんどや（くんわの里）		
２月	2/２　節分・恵方巻き		
３月	ひな祭り外出（大分日田市豆田町）	健康診断 花壇整備	避難訓練